

川勝さんは青島幸男か？

静岡県知事選の前半戦が終盤を迎えている。広瀬さんは死にもの狂いの戦いを挑んでいるが、正直情勢は厳しい。一方の川勝さんは選挙を休んで、学者として東京で開催した学会に出席したり、職務代行者をたてず公務を行ったりと余裕だ。公務でのアピールは選挙活動につながり選挙違反スレスレでもあるが、その手練手管は見事であり、マスコミはそれを能天気にも報道する。

選挙で信を問うことは、県民の負託をうけるという点で非常に重要で尊いことであることは政治家なら誰でも知っている。しかし、川勝さんは県民をなめているのか、選挙を軽く見ているのかわからないが、まるで青島幸男元東京都知事を見ているようだ。

選挙の本質は有権者に政策を訴えることだ。そして、候補者は激しい選挙戦の渦中でもまれ、多くのこと、思いがけないことを学ぶ。青島元知事の代名詞は「無責任一代男」だったが、県民、有権者を愚弄する選挙行為は絶対に許してはならない。

自民党県連選対では今回の知事選の最大の焦点は、自民党の支援する広瀬か、民主党の現職知事かを選択する選挙と言っているが、実のところ私はそんな風には考えてはいない。それどころか、今回、支持という結論を出した自民党本部には足を引っ張られた感さえある。

私はテレビなどマスコミが伝えない、この4年間の川勝さんの真実の姿を県民になんとかわかってもらいたいと思う。そして、ここに今回の知事選の意味がある。

私は川勝さんの学者としての力は認める。しかし、それでは静岡県は動かない。特に静岡県を動かす手足となるべき県、教育委員会、警察との川勝さんとの間に信頼関係が育っていない。そのため、県政は川勝さんのワンマンショーで県民不在だ。今回の知事選は川勝さんから県民のために静岡を取り戻す選挙である。

静岡県議会議員
天の一